

那須塩原市レッドデータブック 2017

【概要版】



● レッドデータブックとは

レッドデータブックとは、絶滅の危機に瀕している野生生物の現状を記録した資料集で、国レベルのものは環境省が、都道府県レベルのものは栃木県が作成しています。

那須塩原市レッドデータブックは、県内の市町では初となる総合的なレッドデータブックです。本市の地域性に特化し、野生動植物の希少性を評価（ランク付）することで分かりやすい内容とし、絶滅のおそれのある希少野生動植物種の保護のために、広く市民の理解を深める資料になると考えています。

また、野生動植物の保護のためには、種単位だけでなく、その種が生息・生育している環境を守ることが重要であることから、種の保存のために地域として保全していく必要がある場所を「保全すべき地域」として選定し、記載しています。

● 対象範囲

植物、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類の7分類群としました。

植物	維管束植物	シダ植物、裸子植物、被子植物
動物	脊椎動物	哺乳類
		鳥類
		爬虫類
		両生類
		魚類
	無脊椎動物	昆虫類

● 調査区域

市内を以下の4つの地域に分けて実施しました。



● 作成の流れ

レッドデータブックの作成に当たっては、市が条例で設置した、動植物の専門家で構成する「那須塩原市動植物調査研究会」が現地調査、種の選定、解説の執筆等を行い、環境管理課にて取りまとめを行いました。



動植物調査研究会全体会議

年度	H5.....H25	H26	H27	H28
調査	市内調査	補完調査①	補完調査②	
作成作業			調査結果整理・種の選定	
			掲載内容検討	
			原稿執筆	
			編集	